

2016年5月5日 緊急入院、自主的に退院

された後の経過報告。

「退院後の経過報告」徳弘徳子 78歳

2016年5月26日

今回、強制退院をした理由ですが、初めから強引に事を運んだ訳では無いのです。私「お世話になりました。息子も仕事があり帰るので退院させてください。没収の薬も返して欲しいのです。乙字湯が無いので便秘もするし、抗ヘルペス剤が無いので又、発作性高血圧他も出現します。」内科医「もう一度採血させて欲しい。外注に出している血液検査の結果も出るから、総合してこれからの治療方針を立てます。持参の薬は薬局で調べています。入院が嫌なら通院でもよろしいです。」と、しつこく言われるので私は「先日もお話致しましたが、医大でステロイド治療を約一年間やり右目網膜裂孔、立つも這いもならず、手は痺れ感覚も無くなり、食器は落とす、冷蔵庫は布巾を引っかけて口で開ける始末。標準治療とやらは、もうたくさんです。没収された漢方薬での四年間の治療で見ての通り此处まで回復したのです。もう逆回転させないで下さい。標準治療は絶対嫌です。私の発作性の症状をかき摘んで言うと、医大でステロイド治療中に免疫を完全に落とされ、ヘルペスウイルス8種類の4番目のEBV(エプシュタイン・バールウイルス)に感染したのです。(抗体をつくるBリンパ球に好んで感染) BCL (Bリンパ球+IgM) という自然抗体であるIgMを持ったリンパ球にEBVが感染すると(本来は抗原を認識して、段階を経て初めてBリンパ球が抗体をつくる)感染Bリンパ球はEBVの遺伝子によって多クローン抗体、つまり多種類のIgMを作り、クラススイッチさせられIgMやIgG・IgE・IgAが抗原なしで作られて血中に放出されクロスリアクションを起こし、不都合な症状を生みます。私の場合は発作性高血圧等を生み出すのです。私はアレルギーが全く無いのにアレルギーが何度も酷くなる。これもEBVに感染しているからです。」以上の会話があったのです。

以下郵送された書類

退院証明書…傷病名 低ナトリウム血症(後に改善) 認知症無し 転帰 軽快
診療明細書…超音波検査、コンピューター断層診断等
子宮内膜組織採取、子宮頸管粘液採取…異常無し 癌の心配なし

退院後の経過（5月7日 正午頃退院）

例えば212 97 85等高血压と不整脈 続出。高血压の発作の前兆は、右手指、足左指強張り。初めて左手痺れ感、首、肩縛り始める。右目裂孔の部分はハイスピードで白い輪が回転する。

日課としている自分のケア

朝5時薬湯作り・・・バスに高温湯を落とし晒しの袋に入れて浸ける。約1時間位庭に下りる。静かで空気も新鮮、うぐいすの囀りと、池の蛙の鳴き声だけ、サツキもほぼ満開。入浴しながら煎じ薬をつくる。

夕刻・・・つぼ灸。夕食を挟み（続けては、しんどいので）

免疫が戻った感じは・・・5月12日午後から耳鳴りが段々大きくなり発作性高血压、不整脈が減少し始める。

現在…5月25日 体温36・6 血压11、03 136 65 64（薬湯に入るので低い） 13、32 171 81 61（段々上昇、カルスロット10mm服用） 23、07 152 79 68（カルスロット10mm服用、就寝の頃）

トイレ（尿）相変わらず持って2時間位です。

体重は2kg増で42kgです。

アトピーは顔ボツボツ、背中、腹、みぞおち、太股に出ています。

以上